

平成 19 年度第 6 回(通算第 39 回)「市民の皆さんとランチで対話」概要

団 体 名	機織地区会
開 催 日 時	平成 1 9 年 8 月 8 日 (水) 正午 ~ 午後 1 時
開 催 場 所	市長応接室
出 席 者	機織地区会 9 人 (能代市：市長、市民まちづくり支援課長、道路河川課長補佐、地域情報課長)
案 件	東能代駅前の現状と今後について 他
会議の概要 (主な発言)	<p>(...機織地区会の皆さん ...市長)</p> <p>1 東能代駅前の現状と今後について 都市計画での区画整理は終わったが、まだ狭隘で当初の市玄関口として地区住民が期待した利便性には乏しい実感。行政でのとらえ方と今後の方向性は？ 市の玄関口としてのまちづくりが不十分な点は指摘のとおり。今後、大型ショッピングセンターや東中跡地、駅前問題を解決しなければまちづくりの全体像が見えない。それを見据えて駅前の未来像を考え、活性化を図るよう検討したい。</p> <p>2 東能代駅東側駐車場問題と西側の利用構想について 駐車場の収容台数が少ない。拡充できないか？ 白神山地等へのツアー客の大型バス発着等にも路幅が狭く困難な状況。 駅の西側スペースの駐車場化も一案では？駅の東西を結ぶ跨線橋を要し、莫大な経費が必要だが、駅利活用の選択肢として、当地区の活性化へ繋げてほしい。市でも JR と絡めての「まちおこし」になるのでは？ 駅裏の活用は、指摘のとおり莫大な経費が想定され、可能性は考えられるが、早急な開発は困難。まず駅前整備をしてから。</p> <p>3 旧東能代中学校跡地の活用と環境整備について 当地区の災害・非常時の避難場所指定地は第五小だが、遠すぎる。旧東中跡地に、普段はセミナーハウスや大学運動部等の合宿訓練所等として、非常時には備蓄センターも兼ねた危機管理センター(避難場所)機能を持った施設の建設も選択肢では？駅や自動車道インターも近く、中枢機能を持たせるにふさわしい場所。 秋口までに「まちづくり協議会」で意見を集約するので、市もそれを受けて、検討したい。提言の防災的な機能は大事で必要と認識している。 研修所・合宿所案は、「アリナス」を含めて考える必要がある。「アリナス」は研修施設であり、試合時には観客席や選手の控え室等もなく、不便を強いっている。あわせて考慮したい。 合宿所としての考えでは、1 案として、この近辺エリアを「健康増進のまち」</p>

としたらどうか。風の松原・日本海・温泉・アリナス・組合病院もあり、白神山地がある。このロケーションを活用し、都会で疲れた方々が訪れ、元気になって帰るというイメージを持っている。また、風の松原や北欧の杜等長距離コースや、急坂の釣瓶落としもある。ラグビーのメッカ「菅平高原」と同様、「箱根駅伝」等駅伝合宿地としての可能性はないか、探っている。

その他、東能代～国道7号間の直線道路や風の松原通りを「禁煙ロード」とする提案、また7号線から小友沼へ通じる交差点への信号機の設置についての要望あり。

今後も、問題点について意見をまとめ提言してほしい。特に東中跡地は地区が活性化する活用を図りたい。防災面以外にも、今後の高齢化社会を見越した福祉面からのアプローチでも考慮する等知恵を出し合いたい。